

「輸入承認申請理由書（特定水銀申請用）」 記載要領

※基本的注意事項

- ・用紙の大きさはA列4番とします。
- ・記載にあたっては、日本語又は英語で記載してください。

「申請者名」欄

申請者が法人の場合はその名称及び代表者名（代表権のある者の役職名、氏名）を、申請者が個人の場合はその個人名を記載するとともに、住所、担当者名等も併せて記載してください。

1. 輸入貨物の概要

(1) 貨物名、数量等

実際に輸入する貨物の貨物名、型及び等級（規格）及び数量を記載してください。

型及び等級（規格）欄は、濃度又は等級があれば記載してください。

(2) 当該貨物（含有物については規制物質）のCAS No.

当該輸入貨物（含有物については規制物質）のCAS（Chemical Abstracts Service（アメリカ化学情報データベース））登録番号を記載してください。

(3) 当該貨物（含有物については規制物質）の国連番号

当該輸入貨物（含有物については規制物質）に係る国際連合・経済社会理事会「危険物輸送専門委員会」が設定する化学物質番号（4桁）を記載してください。

(4) 当該貨物の輸入統計品目番号（HSコード）

当該輸入貨物に係る輸入統計品目番号（9桁）を記載してください。

(5) 輸入予定時期

当該貨物の実際の輸入が予定されている時期を記載してください。

(6) 輸入公表に該当する具体的理由

輸入貨物が輸入公表に該当する理由を記載してください。

例：水銀の重量濃度が●パーセントであるため。

2. 製造業者

当該輸入貨物の製造業者の名称、住所、担当者名等を記載してください。

3. 輸出者

輸入契約の相手方（輸出者）について記載してください。

4. 輸入者

当該貨物を輸入しようとする者の名称、住所、電話番号等を記載してください。

5. 中間取引者

輸入者から最終需要者までの間に商社、卸売業者等中間取引者が存在する場合は記載してください。複数存在する場合は、欄を追加して記載してください。

6. 最終需要者

- (1) 当該輸入貨物を消費又は加工する者について記載してください。複数存在する場合は、欄を追加して記載してください。
- (2) 保管場所住所及び使用工場住所が最終需要者住所と同じ場合は「最終需要者住所と同じ」と記載し、異なる場合はそれぞれの住所を記載してください。
- (3) 事業内容欄には、最終需要者がどのような製品を製造又は取り扱っているか等具体的に記載してください。
- (4) 最終用途欄には、当該輸入貨物がどのような目的、用途に使用され、どのような機能を果たすのか等を具体的に記載してください。

例1：●●の水銀含有量を測定するための●●計測器において、参照の標準用として使用する。

例2：環境汚染物質（●●）の分析のため、試験・研究用の標準試料を製造する原料として使用する。

7. 当該貨物の輸入実績

過去に、当該貨物と同一の貨物、同一の輸入者及び同一の最終需要者について輸入承認実績がある場合、直近のものから記載してください。

8. その他（当該貨物の輸入に関する今後の見通し等）

当該輸入貨物の今後の輸入見通しがあれば具体的に記載してください。その他特記事項があれば記載してください。